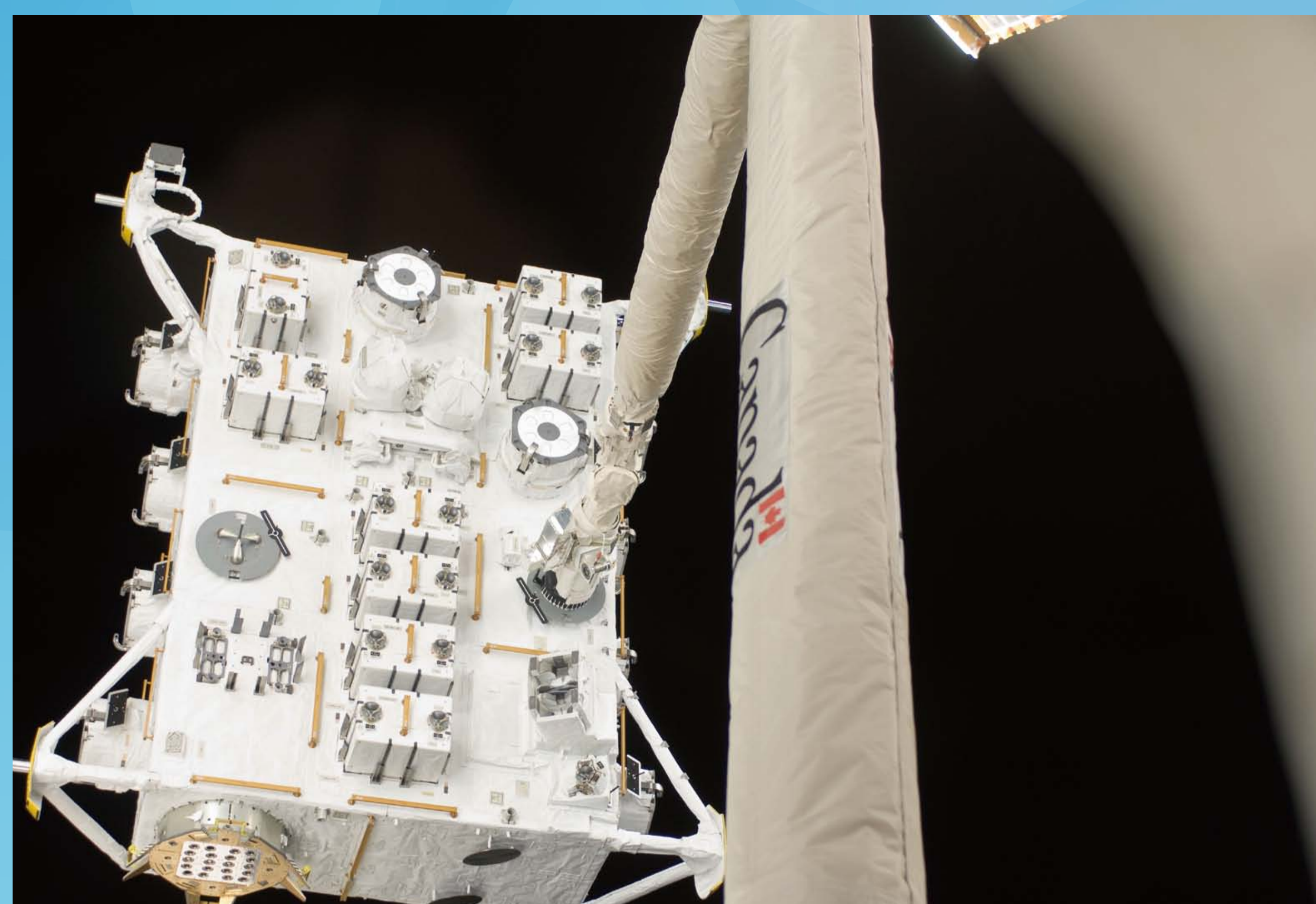
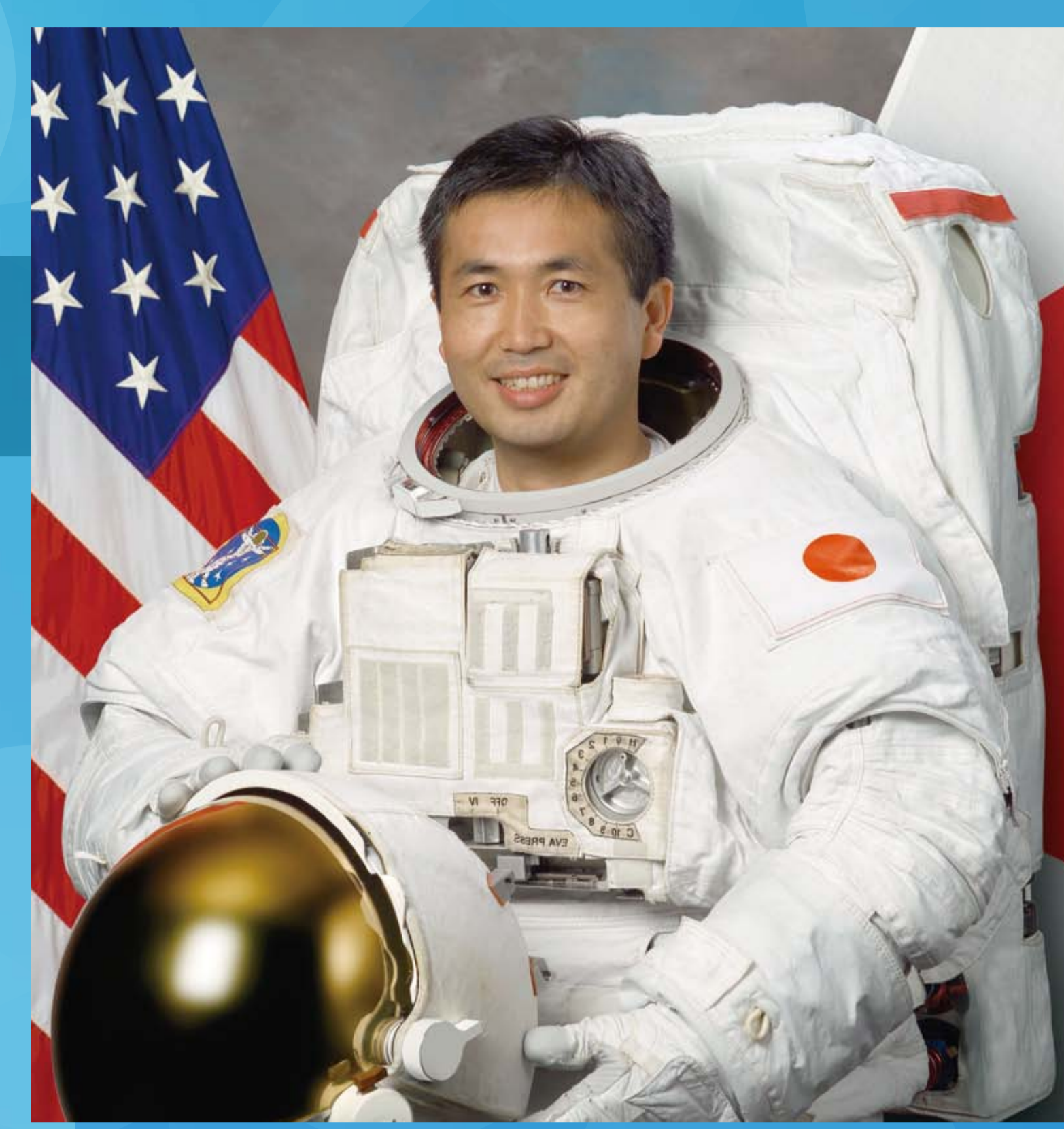


若田光一宇宙飛行士が参加した宇宙ミッション③

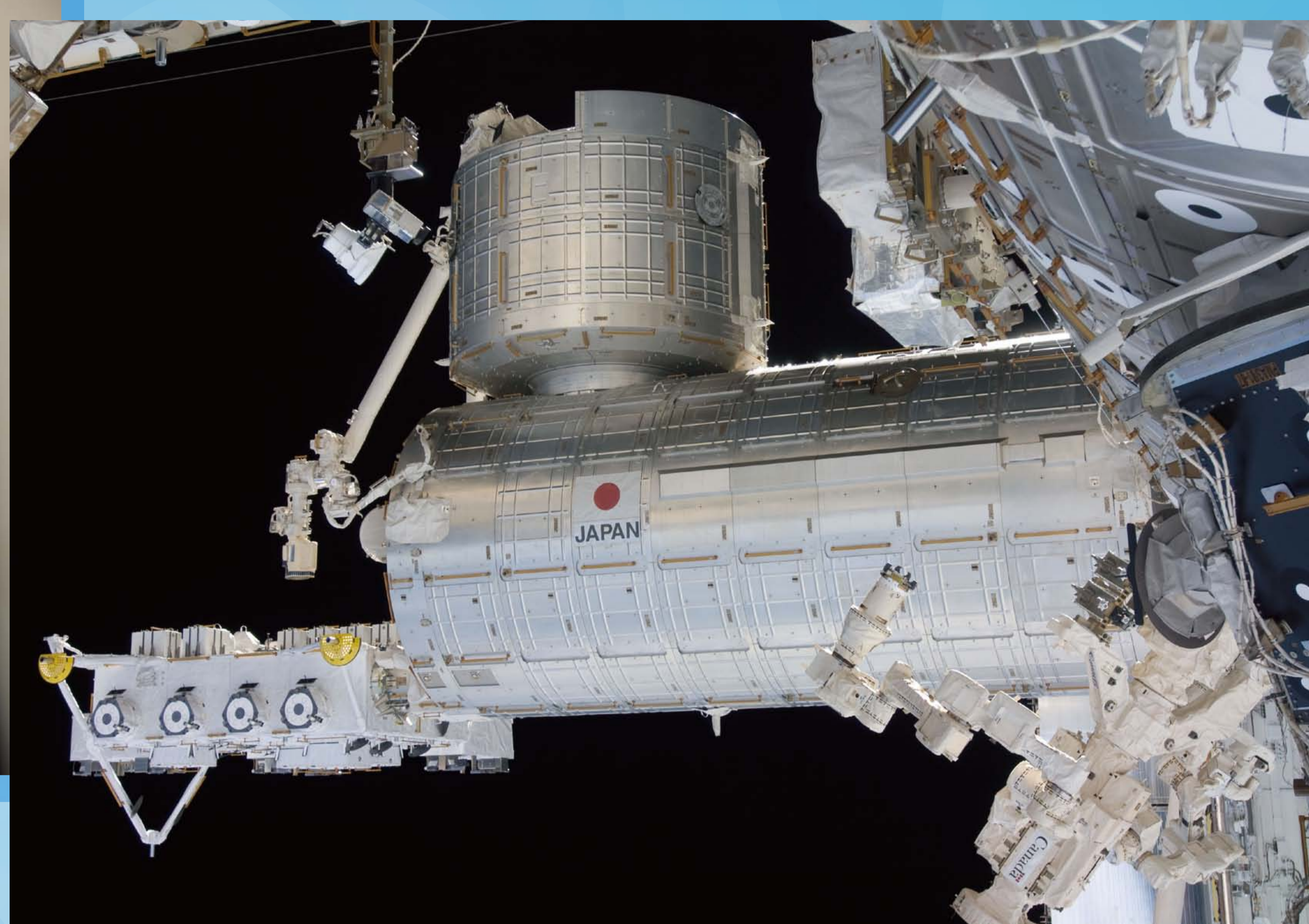
日本人として初めて ISS長期滞在ミッションを実施

2009.3～7

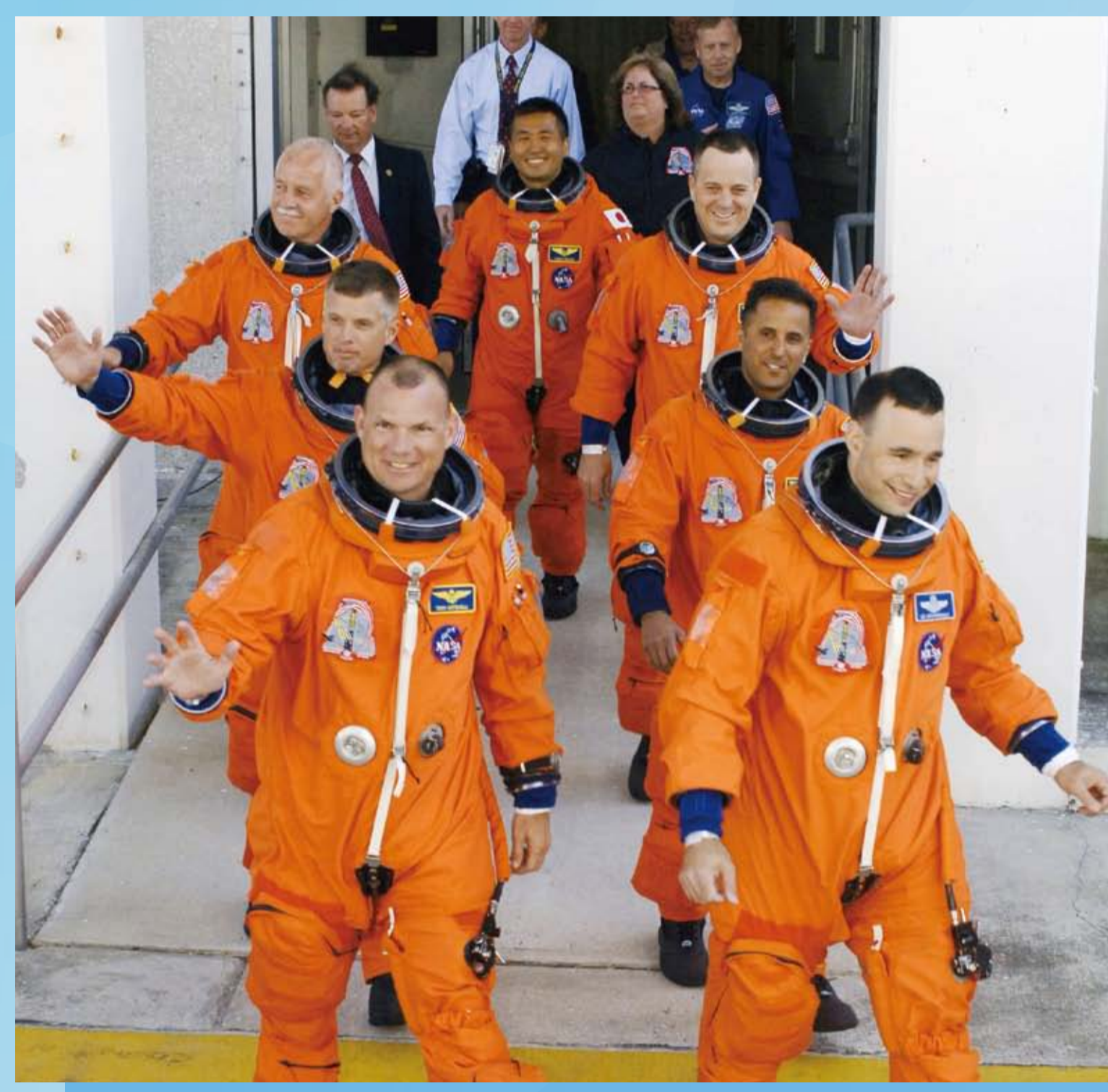
STS-119ミッションでスペースシャトルに搭乗した後、第18/第19/第20次ISS長期滞在クルーのフライトエンジニア、JAXA科学実験担当官として日本人初の国際宇宙ステーション(ISS)長期滞在ミッションを実施しました。そして「きぼう」日本実験棟の最後の組立ミッションとなるSTS-127ミッションで「きぼう」船外実験プラットフォームを取り付け、「きぼう」を完成。約4ヶ月半の宇宙滞在を完了し帰還しました。



ロボットアームによる船外実験プラットフォーム取り付け作業



完成した「きぼう」日本実験棟



アストロバンに向かうSTS-119クルー



ディスカバリー号打ち上げ



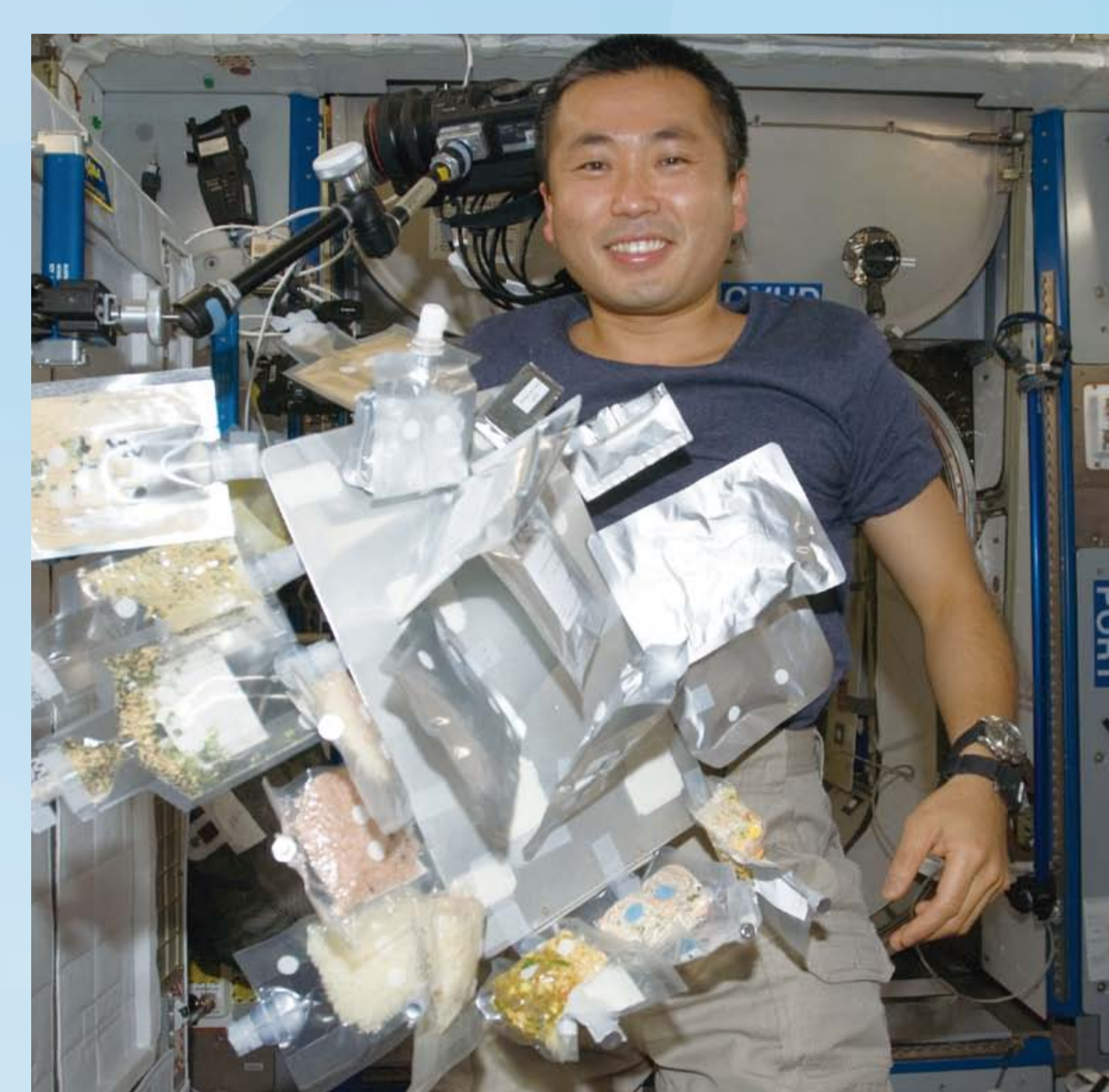
ロボットアームの操作



ソユーズ宇宙船の移動のためソコル宇宙服着用



グローブボックスを使った実験



宇宙日本食



「きぼう」エアロック前



エンデバー号着陸

STS-119、ISS第18次/第19次/第20次長期滞在、STS-127

打ち上げオービタ名称	ディスカバリー号 (STS-119)
打上げ日時	2009年3月16日 8時43分 (日本時間)
打上げ場所	フロリダ州ケネディ宇宙センター
帰還場所	フロリダ州ケネディ宇宙センター
帰還日時	2009年7月31日 22時48分 (日本時間)
帰還オービタ名称	エンデバー号 (STS-127)
ISS滞在期間	133日間